

## 第374施設中隊 桜の木を植え替え、再生へ *Sakura trees undergo refresh through 374 CES*

June 18, 2025

By Staff Sgt. Tristan Truesdell  
374th Airlift Wing Public Affairs

横田基地に植えられている桜の木々は、樹齢が約35年に達しており、桜の平均寿命である30～40年に近づいている。樹木は年を重ねるにつれ、病害などの影響を受けやすくなる。

毎年、第374施設中隊は、老木を若木に植え替える作業を行い、基地の自然環境と桜の景観を守り、桜の健やかな成育の維持に努めている。

春に花を咲かせる桜は、横田基地で開催される「サクラ・スプリング・フェスティバル」を象徴する花として親しまれており、このフェスティバルを通して在日米空軍と周辺の地元地域との強い絆を祝う機会となっている。桜の定期的な管理と手入れには、こうした日米の友好関係を大切に育てていこうとする基地のコミュニティの思いが込められている。



2025年5月21日撮影